

のう胞性線維症に対する大腸内視鏡検査について

のう胞性線維症の大腸がんリスクは、一般の人の5～10倍、肺移植後は25～30倍と報告されています。そのため、大腸内視鏡検査による頻回の大腸がんスクリーニングが必要となります。



また、大腸内視鏡検査前の腸管洗浄も入念に行う必要があります。

